

平成24年度第2回 国土交通省東京航空局 入札監視委員会
審議概要

開催日及び場所	平成24年12月10日(月) 国土交通省共用会議室5	
委員	委員長 浅野 正一郎(国立情報学研究所教授) 委員 廣渡 鉄(弁護士) 委員 高田 和幸(東京電機大学教授)	
審議対象期間	平成24年4月1日～平成24年9月30日	
抽出案件	総件数 3件	
工事 建設コンサルタント業務等 役務及び物品等	一般競争	1件
	一般競争	1件
	一般競争	1件
各委員からの意見・質問、それに対する東京航空局の回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし	

審議概要

質疑等	回答
<p>1. 工事(一般競争入札方式) 「東京国際空港庁舎耐震改修工事」について</p>	
<p>○結果的に全社優の中で競争を行ったことで大変好ましい入札の結果だと思う</p> <p>○入札の結果はどのような発表の仕方をしているのか</p> <p>○評価点に関する質問は無かったのか</p> <p>○特にクレーム等はなかったのか</p> <p>○旧管制塔はどうするのか</p> <p>○耐震工事もしていないようだが問題ないのか</p> <p>○耐震法からの提案はさせていないのか</p> <p>○制震ブレースは用意されているのか、工事に含まれるのか</p> <p>○業者によって製作費用に差が出るのか</p>	<p>○全ての社の入札額、評価点をHPIにて公表しています</p> <p>○評価の結果は各社に通知している。1社から提案の採用に関する質問がありました</p> <p>○特にありませんでした</p> <p>○現時点では未定です</p> <p>○建築基準法を満足しており問題ありません</p> <p>○耐震診断の結果を踏まえ運用に支障の無い補強方法を決定しています</p> <p>○工事に含まれています</p> <p>○今回工事の仕様では2社から選択できるものであり、各社がどちらかを選び金額を決定していると思います</p>

審議概要

質疑等	回答
<p>2. 建設コンサルタント業務等(一般競争入札方式)</p> <p>「東京国際空港国際線地区誘導路灯切替その他工事等監督補助業務」について</p>	
<p>○毎年発注する業務なのか</p> <p>○施工管理であれば工事施工業者が行ってもよいのでは</p> <p>○1社応札となっているが</p> <p>○参加要件を満たす者は何者あるのか</p> <p>○対象工事施工業者と資本関係、人的関係のないことを要件としているが確認はしているか</p> <p>○応札者が少ないということは魅力のない業務ということか</p> <p>○対象工事7件すべて年度内工事か</p> <p>○来年度も監督補助業務を発注するのか</p> <p>○応札者の過去の業務成績評定点の65点は低いのでは</p>	<p>○工事の施工規模、件数等を勘案し発注することとしている</p> <p>○中立性を保つため、対象工事請負者又は入札参加者と資本や人的関係の無い建設コンサルタントに発注している</p> <p>○資料を取りに来たのは2者あったが、応札参加は1者であった</p> <p>○設計業務で13者、うち4者は施工管理経験者である</p> <p>○関係のないことを確認している 本業務契約後に発注する工事には、当該業務受注者と資本や人的関係が無いことを参加条件にしている</p> <p>○昼・夜間おける施工立会い等、人的、時間的にハードな業務であることが影響しているのかもしれない</p> <p>○来年度までの工事が2件ある</p> <p>○施工規模等を勘案し判断する</p> <p>○基準点60点に加算していく方式のため、特別低いものではない。なお、応札者の過去2年平均点は71点であった。</p>

審議概要

質疑等	回答
<p>3. 役務(一般競争入札方式) 「平成24年度東京国際空港海上制限区域警備業務請負」について</p>	
<p>○業務請負はいつからですか。</p> <p>○契約は何回目ですか。</p> <p>○このような海上警備は他空港でもありますか。</p> <p>○陸上警備と海上警備を一緒にするのはどうですか。</p> <p>○契約そのものに問題はないが、次の契約に向けてどう競争性を確保して行くのか、今後の宿題としてください。</p>	<p>○平成22年8月より行っています。</p> <p>○3回目です。</p> <p>○海上警備が必要となる棧橋構造の空港は羽田空港のみです。</p> <p>○契約規模が大きくなるので、大きな警備会社しか入札できなくなる可能性もあります。</p> <p>○今後も検討して参ります。</p>